

＜三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録＞

開催日：2025 年 1 月 15 日 18:30～19:53

場所：新橋駅前ビル 1 号館 6 階 605 号ダ・ヴィンチ大会議室+Zoom ミーティング

出席者： 理事：飯島、庄野、坂口、荒嶋、小坂橋、加藤、鈴木、高木、最川、吉田、
五十嵐、尾山、石原、内倉、栗山

顧問：平松、関根、三輪

Zoom 出席者理事：黒岩

監事：小川 (Zoom)

顧問：児玉 (Zoom) (敬 称略)

庄野理事の進行により新橋の会議場と Zoom ミーティングの併用によるハイブリッド会議を実施、飯島会長から新年の挨拶があり任期があと 1 年残っていることが判明し、あと 1 年頑張りますと報告宣言があった。その後議事録作成 に加藤理事、議事録署名人に五十嵐理事を指名し会議を開催。下記議案等を審議報告した。

＜審議事項＞

1. 決算並びに監査結果について

2. 総会開催要項・議案について

坂口事務局長より 2 月 12 日に開催される総会の議事は

第 1 号議案 2024 年事業報告及び決算報告の件

上記報告に関する監査報告

上記報告承認の件

第 2 号議案 2025 年度事業計画および予算決定の件

第 3 号議案 理事の選任について

その他

を予定していると報告があった。

それに基づき 2024 年度三浦外洋セーリングクラブ基金収支報告があった。

基金 2024 年度は、収入 234,317 円の収入があり支出は 0 の為前期繰越金と合わせて 11,637,891 円の資産があり監査も適正であると認められたとの報告があった。

総会・第 1 号議案 2024 年度事業報告

坂口事務局長より 2024 年度会員数は会員の高齢に伴う退会などで 2023 年度より 3 名減り 236 名となった。しかし登録艇は 2 艇増え 86 艇であったと報告された。

- ・ 2024 年度三浦外洋セーリングクラブ一般会計決算案について、2024 年収入は 1,823,814 円。支出は 2,176,689 円。当期収支差額は▲352,875 円であったと報告があった。

JSAF 関係・基金は当期収入が 2,003,350 円。そのまま JSAF へ支払われる支出が 2,003,350 円。当期収支差額は 0 円。

よって 2024 年度収支差額は▲352,875 円。

前期繰越金 9,354,227 円から▲352,875 円を引いた差額 9,001,352 円が次期繰越金になったと報告された。

- ・ 当期貸借対照表案について資産の部 9,006,352 円が現貯金としてあり、事務局費が 5,000 円まだ引き出していないので負債として 5,000 円。それを引くと 9,001,352 円

になると報告があり小川・最川両監事より適正であると認められたとの報告があった。

総会・第2号議案 2025年三浦外洋セーリングクラブ一般会計予算案

2025年度予算収入は1,866,398円を想定。支出は2,670,000円を想定。当期収支差額は▲803,602円を想定していると報告があった。

これを受けて尾山理事より、赤字予算であることの説明を総会で実施した方がよいとの提案があり、坂口事務局長より、JSAFの会員システムが更新されることにともない、三浦OSCの会員証を前のデザインに戻す印刷料や郵送料、合同会議が地方で開催されることが多くその旅費の高騰などが原因であると説明があった。この赤字予算が続くと今後会費の増額も考えなくてはならなくなるとの意見も出た。合同会議の出席者の人数などを限定するルール化なども必要になるか等今後支出の切り詰めを検討していくことを確認した。

・みさきヨットの会計報告

坂口事務局長より、みさきヨットの2024年度登録は11艇。収入は154,073円。支出は19,875円。当期支出差額は134,198円。前期繰越金691,560円と合わせて次期繰越金は825,758円となったと報告があった。

みさきヨットの通信料がJSAFの負担である件について、児玉顧問よりみさきヨットで使用しているNTTの回線は無線機と常時繋がっているため、回線料およびプロパイダ一料が派生している。JSAFの海岸局の専用チャンネル(71ch74ch)は、海岸局みさきヨットがなければ認可されないものなのでJSAFが支払うべきものである。もし請求が来た場合には、関係する外洋団体に相談して分担して支払うべきであると説明があり確認された。

以上第1号議案および2号議案については満場一致で承認可決された。

総会・第3号議案 理事の選任について

神崎理事の退任に伴いシーボニアフリートで後任の理事を選定し推挙して下さると報告があった。

3. バージのデザインについて

飯島会長より、2024年に進めてきたMOSCバージについて予算も承認されているが、バージ作成について一旦中止にしたいむねを総会にもかけたいと議案提示があった。理由としては、バージのデザインは人によって評価が違い満場一致が難しく、多数決には馴染まないこと、継続審議にしても同じ問題が続いてしまう可能性があるとの理由で、バージ作成は中止にしたいと説明があった。赤字予算の現状も受けてバージ作成中止は承認可決された。また尾山理事より現在までにかかった費用については確認し、クラブが支払うことの提言があり、確認された。その予算は総会までに上げることも確認した。

4. アニオールズ・カップ協賛について

坂口事務局長よりアニオールズ・カップについて説明があり、例年通り25,000円を支援することが承認された。

<報告事項>

1. 外洋合同会議委員会参加者について

坂口事務局長より 1 月末蒲郡で外洋合同会議委員会が実施される。参加者は現在レース・安全・計測委員会が参加予定である。今回レースマネジメント委員会が主催して最新の情報の共有やディスカッションが予定されているので参加される各委員の方は情報を持ち帰って下さいとの説明があった。三輪顧問より、2025 年からルールは大きな変更は無く、わかりやすく書き直されたように思うとの補足説明があった。

2. 全国代表者会議・外洋団体長会議・事務局長会議について

飯島会長より 1 月 25・26 日に全国代表者会議・外洋団体長会議・事務局長会議が開催されると報告があった。この時功績賞の表彰も行われる。議題についてはまだ届いていないと報告があった。

3. 関東外洋 4 団体主催エリアレースオフィサーと B 級ジャッジの更新講習について

五十嵐ルール委員長より 3 月 30 日に夢の島でエリアレースオフィサーと B 級ジャッジの更新講習が開催されると報告があった。

4. 安全とルール講習会について

高木安全委員長より 3 月 15 日（土）Aora で外洋三崎と合同で安全とルール講習会を開催すると報告があった。また Facebook に JSAF 外洋委員会から OSR の日本語翻訳事業が多大な費用がかかるので事業の継続についてアンケートがあると報告があった。翻訳はレースのルールの共有なので JSAF がやらなくては行けないと MOSC として意見を進言することを確認した。

以上で本日の議事をすべて終了し、19 時 53 分に理事会を閉会した。

2025 年 月 日

議事録署名人